

## 脳神経外科後期研修カリキュラム

### 【一般目標】

安全で信頼される診療を提供するために、必須である初期臨床研修を終了した医師が、脳神経外科医として必要な知識、技術を学会認定の専門医訓練施設において修得し、専門医資格取得の基礎を作る。

### 【行動目標 (SB0)】

1. 脳神経外科医として診療に必要な基礎知識に習熟し、臨床応用できる。
2. 脳神経外科診療に必要な検査、処置、麻酔手技、頭蓋内圧管理を含めた集中治療体制に習熟する。
3. 脳神経外科科専門医として必要とされる救急疾患に対する知識、管理、治療を修得する。
4. 一定レベルの脳神経外科領域の手術手技に習熟し、適切に実施できる能力を修得する。
5. 患者及び患者家族との対応能力を修得する。
6. 医の倫理に配慮し、患者のための外科的治療を行う上での適切な態度と習慣を身につける。
7. 脳神経外科学の進歩にあわせた生涯学習を行うための方略の基本を修得する。
8. 脳神経外科専門医受験に必要とされる要件を満たす。
9. 医療システム（保険医療、介護保険など）を理解し、適応できる。

### 【方略】

1. 外来、入院患者を主治医として担当し、検査、処置、診断、治療を行う。
2. 救急症例、入院症例の治療計画を立案し、指導医のもと積極的に治療にかかわる。
3. 指導医のもとに全身麻酔、集中治療など術前術後の全身管理を担当する。
4. 指導のもとに段階をふんで穿頭術から一般的な開頭、閉頭を行う。
5. 指導のもとに外傷性頭蓋内出血、脳出血、水頭症の手術を行う。
6. 脳動脈瘤クリッピング術、脳腫瘍手術、脳血管内手術などの助手を務める。
7. 指導のもとに回復期病棟、療養病棟でのケア、治療を担当する。
7. 病棟スタッフ、コメディカルスタッフと強調、協力してチーム医療を実践する。
8. 症例検討会での討論、地方会など学会発表、論文発表を行う。

【週間スケジュール例】

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟回診	手術	外来診療	手術	外来診療	病棟回診
午後	検査	手術	手術	検査	検査	
夕刻		病棟回診	(医局会)		(症例検討会、抄読会)	

【年間スケジュール】

卒後3～5年で脳神経外科にて研修を行う。当院で接することが少ない症例に関しては大学病院など関連施設に随時参加し、見聞を深める。

【評価方法】

項目	評価者	時期	評価法
経験した疾患名及び症例数	自己、指導医	半年ごと	自己記録
経験した手術名及び症例数	自己、指導医	半年ごと	自己記録
カンファランスでの症例提示	自己、指導医	毎週	口頭
学会・論文発表	指導医	毎年	口頭

【別に定める事項】

1. 名古屋大学脳神経外科医局の策提案の内容（大学関連施設で3年間）
2. 主治医として担当すべき入院患者の疾患分野及び手術経験数：  
日本脳神経外科学会専門医受験要件を満たすよう、幅広い分野の疾患を経験する。
3. 目標とすべき学会または研究会発表数 2回/年
4. 目標とすべき論文数 1編/年

（文責：水谷信彦）